落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2　内　容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(1)と同様に取り扱うものとする。ただし，指導する語については，「英語コミュニケーションⅠ」の２の(1)のウの(ｱ)で示す語に700～950語程度の新語を加えた語とする。また，「英語コミュニケーションⅠ」の２の(1)のエの(ｲ)については，示された文法事項の中から，五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱うものとする。

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(2)に示す事項について，五つの領域別の目標を達成するように取り扱うものとする。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項

(2)に示す事項については，(1)に示す事項を活用して，例えば，次のような五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ア　「英語コミュニケーションⅠ」の２の(3)の①に示す言語活動のうち，「英語コミュニケーションⅠ」における学習内容の定着を図るために必要なもの。

イ　聞くこと

(ｱ) 日常的な話題について，必要に応じて，話される速さが調整されたり，別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら，対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。

(ｲ) 社会的な話題について，必要に応じて，話される速さが調整されたり，別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら，説明や討論などから必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を把握する活動。また，聞き取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。

ウ　読むこと

(ｱ) 日常的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。

(ｲ) 社会的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，論証文や報告文などから必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を把握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。

エ　話すこと［やり取り］

(ｱ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

(ｲ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

オ　話すこと［発表］

(ｱ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(ｲ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

カ　書くこと